

ニュースクリップ & 映像教材

- 「夏休み子ども映画フェア」に410人が参加
- 平成19年度【第11回】文化庁メディア芸術祭作品募集
- 第6回全国こども科学映像祭・作品募集
- 教育システム情報学会「第32回全国大会」開催
- (社)日本教育工学振興会「情報教育対応教員研修全国セミナー
[Educational Solution Seminar 2007 in 大阪]」
- 日本教育工学会「第23回全国大会」開催
- (独)メディア教育開発センター「ICT活用教育と著作権」フォーラム
- 日本教育メディア学会「第14回年次大会」を開催

協会情報

■「夏休みこども映画フェア」 に410人が参加

(財)日本視聴覚教育協会と東京都小学校視聴覚教育研究会との共催による標記映画フェアは、去る8月21日(火)、東京都児童会館(渋谷区)において、夏休み中の親子410名が参加し開催された。この映画フェアは(財)日本視聴覚教育協会の教育映像祭事業の一環として、また、子ども霞が関見学デー(内閣府、文部科学省他28府省庁による)



のプログラムとしても実施されたもので、今年で第8回目を迎えた。

上映作品は「草原の子テングリ」(21分・(株)桜映画社)「はとよひろしまの空よ」(21分・東映(株))「かえだま日曜日」(48分・(株)学習研究社)「あんじゅとずしおう」(21分・東映(株))の4作品であった。

コンクール情報

■平成19年度【第11回】文化 庁メディア芸術祭作品募集

新しい表現技法を開拓して制作した創造性あふれるメディア芸術作品および作者を顕彰する(コンテスト)とともに、その創作活動を支援し、広く紹介していく本祭典(文化庁メディア芸術祭実行委員会主催)では、下記の要領によりメディア芸術作品を募集している。

〈募集期間〉

平成19年10月5日(金)必着。

〈募集部門〉

- アート部門
- エンターテインメント部門
- アニメーション部門
- マンガ部門

〈応募条件〉

平成18年10月21日から平成19年10月5日までの間に完成、または完成作品として発表された作品が対象。

- ・プロ、アマチュアを問わない。
- ・自主制作作品、商業目的作品も問わず応募可能。
- ・各部門とも作品のテーマや内容、手法は自由。
- ・他のコンテストに応募、もしくは受賞した作品も応募可能。応募作品数の制限はないが、同一作品を複数の部門に重複して応募することはできない。
- ・マンガ部門は連載中の作品も

応募可能。

〈各賞・贈呈式〉

部門ごとに、大賞（文部科学大臣賞）1作品、優秀賞4作品、奨励賞1作品を選定。各賞に、賞状、トロフィー、副賞を贈呈。平成20年2月5日（火）に贈呈式を行う。受賞作品展は、平成20年2月6日（水）～17日（日）国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）において開催予定。

〈問い合わせ・作品の送付先〉

文化庁メディア芸術祭事務局
CG-ARTS協会内

〒104-0031 東京都中央区京橋
1-11-2

TEL 03-3535-3501

<http://plaza.bunka.go.jp/2007/boshu/>

■第6回全国こども科学映像祭・作品募集

子どもの科学への関心を喚起することを目的に、(独)科学技術振興機構、(財)日本科学映像協会他による標記映像祭が行われる。映像祭に先立ち、子どもたちの映像作品を募集する。募集については、下記の通り。

〈参加作品〉

科学全般に関する映像。平成19年10月31日までに完成したものであること。ビデオテープ（VHS／S-VHS）、8ミリビデオ、ミニDVで制作されたもの。1制作者1作品に限る。1作品の上映時間は、3分以上10分以内とする。

〈部門〉

○小学生部門（小学生とその父母、祖父母または教師などの保護者と一緒に制作した作品）テーマは、みぢかな生きもののふしぎ。

○中学生部門（中学生が個人またはグループで制作した作品〈教師の指導可〉）テーマは、科

学の不思議を見つめると。

〈締め切り〉

平成19年10月31日（水）

〈賞〉

文部科学大臣賞（各部門1点）、優秀作品賞、選外佳作と特別賞（各部門数点）。各賞には、賞状、トロフィー、副賞等が贈呈される。

〈入選作品の発表および表彰式〉平成19年12月中旬に発表、表彰式は、平成20年1月13日（日）日本科学未来館みらいCANホール（東京都江東区）の全国こども科学映像祭において行われる。

研究会情報

■教育システム情報学会「第32回全国大会」開催

教育システム情報学会では、「e-Learningの実績と今後の展望」をメインテーマに、標記大会を開催する。詳細は、下記の通り。

〈日時〉

平成19年9月12日（水）～14日（金）

平成19年9月12日（水）

9：40～12：00 ワークショップ

13：00～13：30 基調講演

13：50～15：30 パネルディスカッション1

15：40～18：00 一般講演

平成19年9月13日（木）

9：00～11：20 研究会委員会企画セッション、一般講演、デモセッション

14：00～15：00 特別講演

15：10～17：40 ポスターセッション

15：40～17：40 一般講演、デモセッション

平成19年9月14日（金）

9：00～11：20 研究委員会企画セッション、一般講演

12：40～13：40 招待講演

13：50～15：10 一般講演

15：30～17：50 パネルディスカッション2

〈場所〉

信州大学工学部若里キャンパス（長野県長野市若里4-17-1）

〈内容〉

○パネルディスカッション「e-Learningは大学改革の基盤となりうるか（仮題）」「e-Learningをビジネスにするために」

○基調講演「わかるというのは違いがわかること」伊藤紘二氏（東京理科大学）、「サイバー大学への期待（仮題）」石田晴久氏（サイバー大学IT総合学部長）

○招待講演「信州の伝統的な教育と大学経営から見た教育の情報化への期待（仮題）」藤沢謙一郎氏（信州大学理事・副学長）他

■(社)日本教育工学振興会「情報教育対応教員研修全国セミナー【Educational Solution Seminar 2007 in 大阪】」

(社)日本教育工学振興会では、学校改革とICTの役割をテーマに、標記セミナーを開催する。

〈日時〉

平成19年9月15日（土）12：00～17：30

〈場所〉

富士通関西システムラボラトリ（大阪市中央区城見2-2-6）

〈対象〉

小、中、高等学校の教員および教育委員会の方。入場無料。申し込みについては、下記を参照。

<http://www.fisl.jp/user/>

〈内容〉

13：00～13：30

「『教育の情報化』最新動向」

13：30～15：00

「学校改革『公教育の未来』と

情報教育」藤原和博氏（東京都杉並区立和田中学校長）

15：30～16：15

「タブレットPCを活用した教育の情報化」山根僚介氏（広島県尾道市立土堂小学校教諭）

16：15～17：00

「ICTの投資効果とサポートの重要性について」田中克佳氏（京都市教育委員会教育部学校教育課統括主幹）

〈問い合わせ先〉

（社）日本教育工学振興会

TEL 03-5575-5365

■日本教育工学会「第23回全国大会」開催

日本教育工学会では、標記大会を開催する。詳細は、下記の通り。

〈日時〉

平成19年9月22日（土）～24日（月）

平成19年9月22日（土）

9：30～10：00 受付

10：00～12：00 一般研究発表1

13：00～15：30 シンポジウム1

15：40～18：20 一般研究発表2

平成19年9月23日（日）

9：00～9：30 受付

9：30～12：30 一般研究発表3

14：00～14：30 全体会

14：30～17：15 シンポジウム2

平成19年9月24日（月）

9：00～9：30 受付

9：30～12：30 一般研究発表4

13：30～16：00 課題研究発表〈場所〉

早稲田大学人間科学部（埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15）

〈内容〉

○シンポジウム「e-learningが

変える高等教育システム—伝統的学部・大学院教育の改変：研究・教育そして人材育成—」「実践研究をどのようにデザインし、論文にまとめるか」「教育工学研究に望まれる方法論—実践・政策・市場原理を踏まえたデザイン—」

○課題研究「新しいICT技術・教育システムの開発に関する研究」「学習方略フィードバックのための学習コンテンツの構成と学習データの利用」等

〈問い合わせ〉

日本教育工学会大会企画委員会メールにて、taikai2007@jset.gr.jpまで。

■（独）メディア教育開発センター「ICT活用教育と著作権」フォーラム

（独）メディア教育開発センターでは、ICT活用教育における著作権を考える標記フォーラムを下記のように開催する。

〈日時〉

平成19年9月26日（水）13：00～16：45

〈場所〉

東京国際交流館プラザ平成国際交流会議場（東京都江東区青海2-79）

〈内容〉

○基調講演「ICT活用教育への取組について」荒井克弘氏（東北大学副学長（教務担当））

○講演「ICT活用教育における著作権上の問題や課題」北村行夫氏（弁護士）

○パネルディスカッション「ICT活用教育における著作権の課題や対応について」

司会：清水康敬氏（メディア教育開発センター理事長）

パネリスト：尾崎史郎氏（メディア教育開発センター教授）、末吉互氏（弁護士）、鈴木恒雄氏（金沢大学総合メディア基盤

センター長）、中野裕司氏（熊本大学総合情報基盤センター教授）、金原優氏（日本書籍出版協会副理事長）、日向央氏（（株）TBSテレビ編成局コンテンツ&ライツセンターメディアライツ推進担当部長）

〈申し込み〉

参加申し込みはこちらから。

<http://www.nime.ac.jp/ch-forum/> 入場無料。

〈問い合わせ先〉

（独）メディア教育開発センター事業推進部企画調査課

TEL 043-298-3083・3084

■日本教育メディア学会「第14回年次大会」を開催

日本教育メディア学会では、授業公開および「授業とメディア」と題したシンポジウムを含む年次大会を、下記の通り開催する。

〈日時〉

平成19年10月20日（土）

12：00～17：30

平成19年10月21日（日）

8：30受付～16：30

〈場所〉

カレッジプラザ（秋田県秋田市中通2-1-51）、秋田大学教育文化学部附属小学校（秋田市保戸野原の町13-1）

〈内容〉

○シンポジウム「授業とメディア」「メディアの教育利用—過去・現在・未来—」

○課題研究①子どもの発達とメディアの功罪②学力向上とメディア③交流学習と教育メディア」なお、20日（土）の午前中に秋田大学教育文化学部附属小学校にて授業公開および協議が行われる予定。

〈問い合わせ先〉

日本教育メディア学会事務局
東京学芸大学教育学研究室内
TEL 042-329-7694